

えべつの未来づくりミーティング

～ 市内企業に勤務する若手職員編 ～

令和4年5月18日（水） 江別市民会館2階23号室
午後2時～午後4時20分

1 江別市の「強み」「弱み」は

・強みは、JRも道路も、札幌市への交通アクセスが良く、子育て環境が整っているところ。保育園も増加しており、産後ケア事業も行われているので、子育て世代が転入してくるのではないかと。弱みは、他の自治体と比べて特色がないこと。札幌市の隣ではあるが、札幌市ありきの部分もある。有名な観光スポットもなく、道の駅もない。JR野幌駅周辺は買物に便利だが、江別地区だと車がないと不便である。



・強みは、江別産、江別ブランドの商品が増えていること。自分が勤めているイオン江別店でも、江別市と連携して、食べ物で江別市を推すことができるようになった。最近では、酪農学園大学とコラボして、食肉や牛乳、江別産の豆腐、デザートなどを販売している。弱みは、ワンストップ型の都市ではないこと。札幌方面から国道12号で江別市に入って来た時に、江別市内で止まって何かをすることは少ない。他の市町村では魅力的な道の駅などがあるが、そのようなものと比較すると、江別市に立ち寄る魅力は少し乏しいのではないだろうか。イオン江別店にはシネコン（複数の映画を同時に上映できる映画館）があり、江別市外からも多くの客が来ている。企業と連携して市外から来る人に、江別市の魅力をもっと知ってもらうことができるのではないかと。

- ・トンデンファームでも家族全員で楽しめる場づくりに努めている。子どもの頃に遊んだ思い出は残るようで、20年ぶりに来ましたというお客さんもいる。子どもの頃に江別市で体験した良い印象や思い出がきっかけで、再び江別市に戻って来るようになると良いと思う。
- ・強みを子どもの頃から振り返ると、子どもの頃は、江別市は公園がたくさんあって良かったことを覚えている。学生の際は、野幌地区に何でも揃っていて、学校に通いやすく、不便は感じなかった。今は、札幌市よりも土地が安いことと、ちょうど良い人の混み具合であることが強みと感じる。
- ・転入で再び江別市に戻って来た時、二人の子どもを年度の途中で同じ保育園に通わせることができず、送迎が難しかった。道外では、違う保育園でも1か所に集まれば市がバスで送迎してくれる自治体があった。また、保育士の待遇に力を入れている自治体もある。江別市も、建物だけでなく、人員体制をより充実させると、子育て世代がもっと入って来やすくなるのではないだろうか。観光面では札幌市のついでに来るという傾向があるので、江別市ならではの観光の魅力がもっと高まると良いと思う。
- ・子どもの転入が多いということは、子育てがしやすい、住みやすいまちとして支持されているからだと思う。弱みは、アンケート調査結果にも表れているが、観光やイベント、市街地のにぎわいなどの満足度が低くなっているところ。多くの大学生が卒業後に転出している状況だが、市内企業の魅力を伝えることにもっと力を入れたら良いのではないだろうか。
- ・強みは、立地の良さ。市内のJR各駅から20～30分でJR札幌駅に行くことができる。また、札幌市に比べて土地が安い。食も、トンデンファームをはじめ、小麦など、いろいろな美味しいものがたくさんある。弱みは、江別市に立ち寄ることが少ないこと。毎朝JRで札幌市内から江別市に通っているが、



札幌から江別方面より、江別から札幌方面の方が、人が多い。江別市に住んでいても、昼の食事、土日の買物など札幌市内にお金を使うことが多いのではないだろうか。江別市内には大きな公園はあるが、大きな遊具のある公園は少ないと思う。



- ・強みは、札幌市の隣であること。札幌市内にある、大きな店や病院に行きやすい。ただ札幌市に近いことは弱みでもあり、大麻地区だと、買物などは、野幌地区ではなく札幌市に行ってしまう。小児科も、札幌市内の小児科のほうが予約システムが便利なので札幌市内に行くことが多い。江別市内は緑が多く、公園もたくさんあるが、小さな子どもが安全に遊べる遊具は少ない。小学生向けだけではなく、小さな子どもも遊べる遊具を増やしてほしい。

2 将来にわたって、江別市に暮らしてもらうためには



- ・子育て世代にずっと住んでもらうための取組が必要。50~60歳代になると、高齢者にとって住みやすいまちかどうかを考えるようになる。JR野幌駅周辺は店があるが、その他の地区は自家用車がないと便利とは言い難い。JR野幌駅周辺から離れた地域からJR野幌駅周辺に直行するバスがあれば便利になるのではないだろうか。介護施設も、空きがあるのは入居費用が高いところ。低価格のところは順番待ちであると聞いている。費用が高くない介護施設を増やすことも、子どもが独立した時に、高齢者へのケアもあるので江別市に住み続けようと思われるのではないだろうか。

- ・江別市で生まれて、江別市以外の複数の自治体で生活していたが、江別市に戻って家を購入した。江別市に魅力を感じるのは、子どもが安心して住むことができるとしたこと。子どもが大きくなって一度離れても、江別市に戻ってきてくれるのではないかと考えている。子どもたちに比較的やさしいまちだと思う。いろいろな用事を近辺で足せて、札幌市にも近い。アンケート調査結果も、高齢者や子どもにやさしくて、災害や犯罪も少ないことが評価されている。唯一、不満なのは除雪。今年の大雪は印象強く残っている。自分が働いている店は、大雪の間、客は来なかったが、従業員も出勤できなかった。子どもの通学が心配であった。災害に強いまちなのかと、今年は思ってしまった。一度転出して江別市に戻ってきたが、とても良いまちだと思うので、もっと江別市の魅力を市外に発信したら良いと思う。
- ・家を買う時、周辺自治体を調べると、家の購入時に補助制度を設けているところがあった。市内には働き口となる大きな企業が多くはないが、企業誘致の補助などをしてはどうだろうか。あと、家を建てる環境としては満足だが、買物の環境がもう少し良くなればと思う。また、市内の企業がインターンシップを行うなど市内の大学生が卒業する前に江別市の魅力をもっと伝えてはどうだろうか。
- ・大学生に市内で就業してもらうことが大事ではないだろうか。市内に勤め先があれば市内に住んでもらえる。企業説明会など江別市内にある仕事を知る機会を作るべきだと思う。また、高齢者が住み続けられるまちにするには、タクシーやバスの情報が伝わるようにすることが大事だと思う。飛行機の予約も、インターネットから予約ができない高齢者は多い。高齢者が簡単に市の情報を手に入れることができる環境が必要だと思う。情報を伝えるには回覧板などのデジタルではない伝達方法を充実させることや自治会活動を活性化させること。そうなれば、高齢者も住みやすくなるのではないだろうか。
- ・大学生が就職できる企業が江別市内に少ないと思う。せっかく江別市に来た大学生に、卒業後も住んでもらうのが理想的。市内の大学がすべて札幌市方面に位置しているので、江別市の魅力に触れる機会が少ないのではないだろうか。入学後、早めの時期に、食や市内の企業を含め、江別市の魅力に触れられる機会を増やすことが大事だと思う。



- ・高齢者の意見として、運転免許を返納した後、買物や通院の際にバスを利用しようとしても不便で、タクシーを利用したいが料金が高いので困っているという声を聞く。高齢者がタクシーを利用しやすいように費用面での補助があればよいのではないかと思う。ココルクえべつに入居している人が、最初は循環バスが運行していたが、今は希望に応じた送迎になったと話していた。循環バスは利用者が少なくコストもかかると思うので、シャトルバスやデマンド型タクシーなどが今後必要になるのではないだろうか。

3 人口減少が進む中で、江別市が力を入れるべき分野について

- ・江別市内の働き口の確保が最優先だと思う。働きたい人が全員働くことができることがベスト。子育て世代も共働き希望の場合、江別市内で働けるところが増えれば、経済的にも余裕ができて、出生率も高まるのではないか。また、最近ではテレワークが普及している中、テレワークの環境を市が提供することも良いのではないだろうか。デジタル化の推進により、多様な働き方の拡充も必要だと思う。
- ・人口が減少すると、比例して労働人口も減る。自分の周りでは江別市に残っている同年代の友人が多い。理由を考えた時、小学校の時に江別市内を社会見学したことが印象に残っており、子どもの頃から江別市の魅力について学んでいたことを改めて思い出した。子どもの頃から江別市の魅力を伝え、子どもが江別市の空気に触れることは大事だと痛感している。また、江別市の文化財の補修や活動支援を行っている企業もある。民間と行政が協力し合って、江別市を魅力ある都市にしていけることが大事だと思う。
- ・就職するまで、世の中にどのような仕事があるか知らなかったが、大学のゼミの先生から現在の就職先の分野を教えてもらった。自分の興味のある分野の研修には参加していたが、他の分野を知ることはあまりなかった。大学生に、在学中に市内の企業で働いてもらったり、知ってもらったりすることで、卒業後に就職を考える際の選択肢が広がるのではないだろうか。
- ・まず、大学生への取組を増やすこと。二つ目は、アンケート結果で、観光、イベント、にぎわいの満足度が低いことが残念なので、野幌中央緑地でファーマーズマーケットを開催するなど、市民に江別市の魅力が簡単に伝わるイベントなどを行ってはどうか。札幌近郊の日帰りバスツアーに、江別蔦屋書店が入っているが、EBRI(エブリ)には地元産の商品や飲食店があるのに入っていないことが残念だと思う。アピール不足ではないか。
- ・札幌市から江別市に転入してもらうことは速効性があると思うが、札幌市内では江別市の情報があまり入って来ないので江別市を知る機会が少ない。家を建てる場合は、何らかの補助がある自治体もあり、そのような情報が入ってくれば、その自治体に目を向けるきっかけになるのではないだろうか。そのほか、大規模な宅地造成を続けることができれば、もっと多くの人に移り住んでくるのではないだろうか。
- ・子育てと医療が大事だと思う。子育てをしていると、医療費がかかる。中学生まで医療費が無料にならないだろうか。保育料も、働けば働くほど高くなる。また、病児保育や学童保育が少ないと感じている。せっかく子育て世代が入って来ているので、もう少し病児保育や学童保育を充実させたら、さらに多くの子育て世帯が転入してくるかもしれないし、江別市に長く住んでくれるかもしれない。不妊治療費の助成も、周りで不妊治療の話題が増えているので、国の医療保険の対象にならなかった部分を市独自で支援するなどの制度があれば良いと思う。

